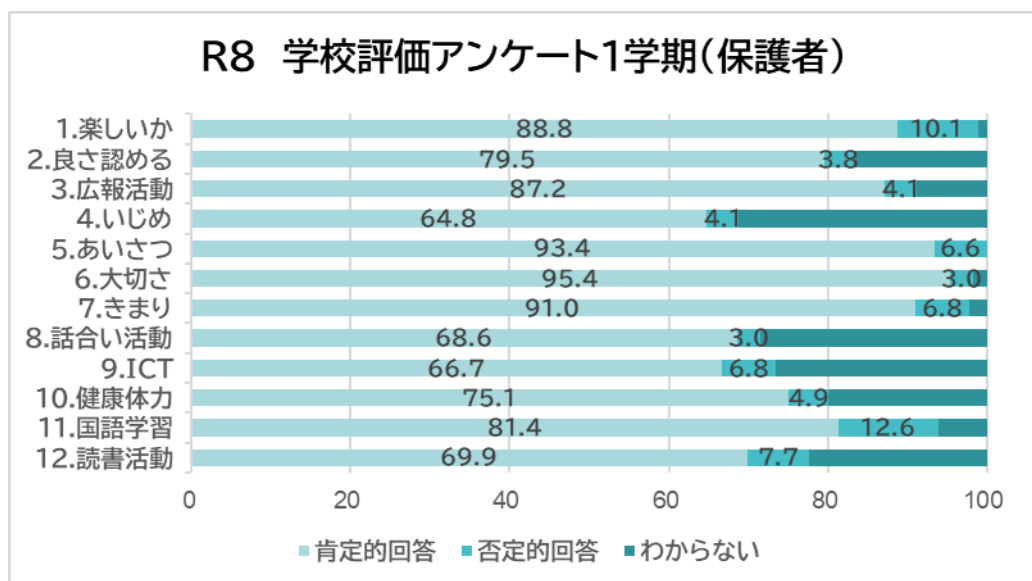


学校評価アンケート

1学期に実施した学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果をお知らせします。表面には保護者アンケートの結果、裏面には児童アンケートの結果を掲載しております。

保護者 (回答数 366)



1. お子さんは、学校に行くのが楽しそうですか。
2. 学校は、お子さんのよいところを認める取組をしていると思いますか。
3. 学校は、ホームページや学校だよりなどで、教育活動や学校の様子を伝えていていると思いますか。
4. 学校は、いじめを許さないための取組をしていると思いますか。
5. お子さんは、家族の間で気持ちの良いあいさつ（おはよう、ありがとう等）ができていますか。
6. お子さんは、自分や周りの人の大切さを認めることができていますか。
7. お子さんは、学校生活のきまりを守っていると思いますか。
8. 学校は、授業で話し合う活動を取り入れるように工夫していると思いますか。
9. 学校は、ICT 機器を有効的に活用した取組をしていると思いますか。
10. 学校は、児童の健康を守り、体力の向上をめざした取組ができていていると思いますか。
11. お子さんは、国語の学習を理解できていると思いますか。
12. 学校は、読書活動を推進する取組ができていていると思いますか。

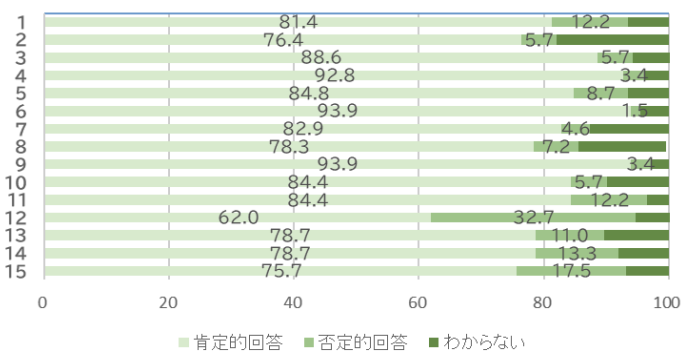
アンケートの結果からは、ほとんどの子どもたちが学校に楽しく通っている様子がわかります。子どもたちが学校のきまりを守って、自分や周りの人のことを大切にしながら生活できているようです。また、保護者の方々が、学校だよりやホームページを見て、学校の様子を知ってくださっているようです。

一方、授業での話し合い活動、ICT 機器の使用、読書活動の各取組については、「わからない」の割合が高いことから、保護者の方に内容を十分伝えることができていないようです。またいじめを許さない取組についても、「わからない」の割合が高くなっています。学校での日々の取組をより発信できるようにしたいと考えます。

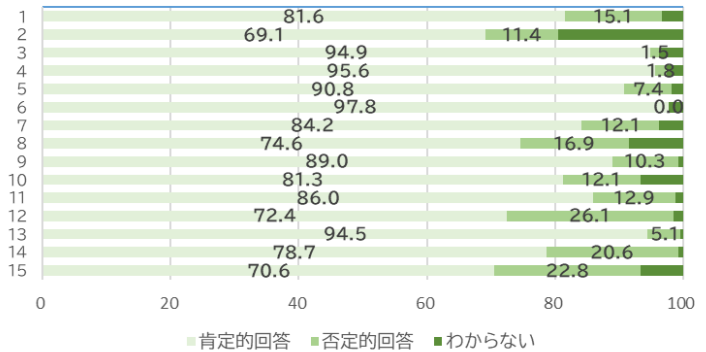
今後とも、本校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

児童

R8 学校評価アンケート1学期(低学年児童)



R8 学校評価アンケート1学期(高学年児童)



1. 学校に行くのは、楽しいと思いますか。
2. 自分には、よいところがありますか。
3. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
4. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
5. 「おはよう」「さようなら」などのあいさつや、「ありがとう」「ごめんなさい」が自分から言えますか。
6. 自分や周りの人のことを大切に思っていますか。
7. 学校のきまりを守っていますか。
8. 学級の友だちと話し合う活動の中で、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。
9. タブレット端末を使って学習するのは楽しいですか。
10. タブレット端末を学習にうまく活用することができていますか。
11. 体を使って運動する活動は好きですか。
12. 国語の学習は好きですか。
13. 国語の学習はわかりますか。
13. 読書は好きですか。
14. 学校に、自分が読みたい分野の本がありますか。

多くの項目で、肯定的な回答が80%を超えています。学校のきまりを守りながら、楽しく学校生活を送り、学習やさまざまな活動にまじめに取り組んでいる児童が多いことがわかります。また、人の役に立つ人間になりたいと感じ、いじめをするのは絶対にいけないと考えている児童が非常に多いこともわかります。

一方、「自分には、よいところがありますか」の項目では、肯定的な回答をする児童の割合が少なく、高学年になるとより一層、割合が下がります。また、「学級の友だちと話し合う活動の中で、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の肯定的回答も、80%に届いていません。学校では、授業で安心して話すことができる環境や、話し合う活動で自分の発言や考えをお互い認めることができたり友だちから賞賛の声をもらったりする環境を作ること、自己肯定感を高めることができると考えます。今後も、児童が安心して生活することができるよう、教職員一同、学校教育を進めていきたいと思ひます。

「国語の学習は好きですか」「国語の学習はわかりますか」の項目については、肯定的回答が低学年より高学年の方が、10～15pt 高くなっています。「国語の学習は好きですか」の項目については、全体に肯定的な回答の割合が低くなっています。「読書は好きですか」「学校に、自分が読みたい分野の本がありますか」の項目では、低学年高学年ともに、肯定的な回答が80%に届きませんでした。今年度、放出小学校では昨年度に引き続き国語科の研究を進めており、国語科の授業の進め方や読書活動について研究しています。近年の国語科学習は、物語や説明文の読解だけでなく、情報を活用しながら内容を比較検討したり理解したりするような内容も増えています。国語科の学習にとどまらず、様々な学習に活用できるスキルを身につけていく必要があると考えているところです。読書活動については、学校図書館司書の配置もあり、週4日間図書室が開いています。読書のおもしろさ、本の世界に浸る楽しさを子どもたちが感じられるように、研究を進めています。大人も子どもも、本離れが進んでいると言われていますが、本を読むことで想像力がかきたてられたり、本の世界に没頭できたりします。読書の楽しさを感じられるような取り組みを今後も進めていきます。